

流行と問題

富岡市立東中学校

3年 大淵 彩月

現代には、ファッションや食べ物、写真映えるような場所、雑貨などなど様々な流行があります。皆さんも流行を感じる場面がたくさんあるのではないのでしょうか。私も、外出した時にドット柄やチェック柄の服を着た人を多く見かけ、ファッションの流行を感じたり、SNSを見てみると、同じスイーツの画像が何枚も投稿されていて、スイーツの流行を感じたりします。しかし、流行の裏では様々な問題も起きています。今回は、ファッションと、SNSに投稿するための写真撮影、この二つを例に挙げて、流行と問題の関わりについて考えてみましょう。

初めに、ファッションの流行で起こる問題についてです。流行は短期間で変化するのがほとんどで、特

にファッションは流行が変化しやすいと私は感じています。

流行を追い続けると、新しい服や靴、小物などを買い求めることになります。すると、流行遅れのもの次々捨てられてしまいます。このようなことが続き、近年は、家庭からゴミとして出される衣料品が年々増加してきています。また、一人あたりが年間で消費する繊維の量も年々増えてきています。例えば、ヨーロッパでは年間平均二十キログラム、アメリカでは年間平均三十五キログラムの繊維を一人あたりが消費しています。このまま、家庭からゴミとして出される衣料品や繊維の消費量が増加していくと、環境に大きな影響を及ぼすことにつながるのではないのでしょうか。

次に、SNSに投稿するための写真撮影で起こる問題についてです。特に目立つのは、スイーツなどの食品関係です。注文した料理の盛り付けがキレイで、写真を撮るといことは、自然な流れでしょう。写真を撮ってSNSに投稿するということを第一の目的として見せに訪れる人が多くなってきました。そのため

「料理を注文する、写真を撮る、料理に手を付けなかったり、食べ残したりする、そして店を出る」という行為がくり返され、手を付けないまま処分されてしまう食品がたくさんあります。このようなことが続き、撮影が禁止されてしまう店も出てきているようです。

ここにあげた、二つの例以外にも、流行に関する問題は様々です。では、どのようにすればこのような問題が減っていく、もしくは悪化していかないのでしょうか。それは、一人ひとりが現状を知り、気をつけていくしかありません。例えば、ファッションなら流行しているものであっても、自分の好みでなければ買わない。想像してみてください。全ての人が流行しているものを身につけていたら、皆同じで、一人ひとりの個性がなくなってしまう。料理もそうです。自身が食べたいと思わないものを流行に乗るためだけに、無理に食べる必要はなく、SNSに投稿する必要もありません。流行に関する問題を無くしていく、ということとは自分の感覚や自分の個性を大事にする、ということにつながってくると私は思います。

本当にそれが欲しいのか、周りに迷惑はかからないのか、本来の目的は何なのか、この三つのことを考えることが大切なのではないかと私は思います。このようなことを考えたうえで流行を楽しみ、周りに拡散していく、ということが今起こっている問題の解決につながり、本来の意味での流行を楽しんでいくことにながると思います。全ての人が少しでも現状と問題点を知り、それを意識することで、問題の悪化を防ぐことができ、個性を尊重し合える社会が実現する、私はそう思います。